

# 富山県職員行動指針

## 【ウェルビーイング】

### いち富山県民として、県民の幸せに向き合います

私たちひとりひとりの業務は、富山に関わる皆さんの幸せにつながっています。そして、誰かの幸せを願い叶えることは、私たち県職員の幸せでもあります。ビジョンとして掲げる『幸せ人口1000万』のひとりとして、県民にとって、自分にとって、家族や仲間にとって、何が幸せなのかを考え、ありがたい姿を描き行動にうつします。幸せを支える仕事は、幸せを感じられる人から生まれるはずです。

## 【県民起点】

### 人とつながり、現場を知り、施策を磨きます

私たちが取り組むあらゆる業務の先には、富山に生きる人々の暮らしがあります。つまり、業務をより良くし富山を幸せにするカギは、県民の皆さんが持っています。自分の業務が反映される場所に足を運び、体感し、対話し、目の前の声に耳を傾けて課題や理想をインプットすることが、真に必要な施策のアウトプットにつながります。思い込みではなく確かな実感があることで、迷いなく未来へ踏み出せます。

## 【共感共創】

### 立場を超え、お互いを尊重し、力を掛け合わせます

県に集う多様な人材。その掛け算には、計り知れない可能性があります。世代・役職・部局を越え、お互いを尊重し、オープンでフラットな環境を職員全員が目指し実現することは、活発な議論・新たなアイデア・協力関係を生み出し、県民の幸せに結びつきます。県庁内にとどまらず、市町村・民間企業・団体などの垣根を越え協力・連携することは、個人の成長にも富山の発展にもつながります。共有し、共感し、共創することで、施策はもっと磨かれます。

## 【チャレンジ】

### チャレンジを積み重ね、「より良くする」を応援します

時代は急速に変化し続けます。その変化は、富山をより良くするチャンスでもあります。どんなに小さくても改善の必要な業務を見極め実行する。かつてない発想で0から1を創り、富山を、日本を前進させる。先入観や前例に縛られることなく、可能性に目を向け、チャレンジすることが大切です。そして、新たな試みに挑む仲間を励まし応援する姿勢も大切です。入念に思考し、前向きに試行するサイクルを日々積み重ねることで、業務の質は高まります。

## 【誇り】

### 託された仕事に誇りを持ち、最善を尽くします

毎日の暮らしにしっかりと寄り添い、明日の富山を良い方向に変えていく。富山の今と未来は、私たちの仕事にかかっています。滞りなく過ごせるあたりまえの日常の大切さをかみしめ、私たちの仕事はそのあたりまえを支えているという責任を胸に、すべての職員が、自分に託された仕事に誇りを持ち、常にプロフェッショナルとして、誠実に、公正に、最善の仕事をする意志が試されます。